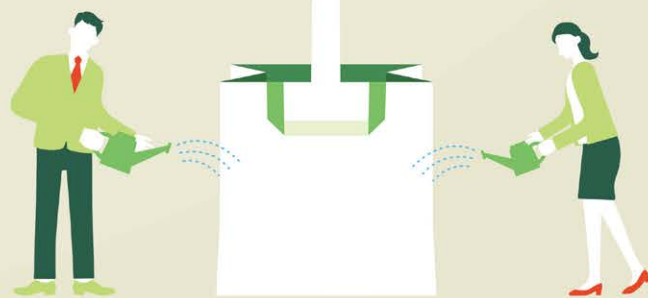


シモジマCSR報告書

# CSR REPORT 2023 WITH SDGs



# CONTENTS

- 3 トップメッセージ
- 4 会社概要
- 5 組織体制
- 6 サステナビリティ経営
- 8 お客様とともに
- 9 [ステークホルダーインタビュー]  
株式会社有明 様
- 10 お取引先様とともに
- 11 [ステークホルダーインタビュー]  
丸紅フォレストリンクス株式会社 様
- 12 従業員とともに
- 13 地域とともに
- 14 環境とともに

## 編集方針

シモジマのCSRレポートは、今年で発行15年目となります。本レポートでは、シモジマのCSR活動をステークホルダーの皆様にご報告するとともに、広くご意見をいただき、皆様との絆を深めるコミュニケーションツールとして機能させることをめざしています。本年度もスローガンを「社会から信頼され、社会に新たな価値を提案する」とし、お取引先様よりご意見をいただき、シモジマが取組むべき価値について客観的に捉えることをめざしました。

## 報告対象期間

原則として2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の実績を記載しておりますが、活動内容は一部2023年4月以降のものを含んでおります。

## 報告対象組織

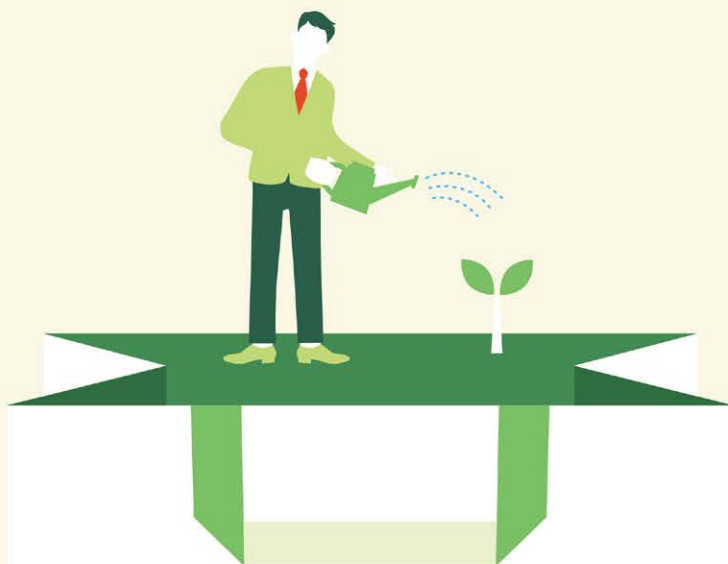
㈱シモジマ単独を中心に、グループ会社を含みます。「当社」と記載している場合は単独を指し、「シモジマグループ」と記載している場合はグループ全体を指します。

発行 2023年10月

シモジマは持続可能な発展に貢献するとともに、地域社会の課題解決や、環境負荷軽減に取り組み、2030年をターゲットイヤーとする国連サミットで採択されたSDGsの目標達成にも取り組んでいきます。



## サステナブルな社会の実現を目指して。



### 〔社章〕

すべてを包み込みながら拡大し続ける宇宙をモチーフとしており、社員や地域社会を含めた一体感や企業の発展性を象徴しています。

### 〔社是〕

三意精神

誠意・熱意・創意

### 〔経営理念〕

- 一、包装用品とこれに関連する事業を通じ快適な社会づくりに貢献する
- 一、常に顧客ニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める
- 一、たえず経営の合理化と積極販売に努力し企業の発展を図る
- 一、社員の楽しく健康的な生活を確保する

# TOP MESSAGE

世界各地での地政学リスクの高まりが原料・エネルギー価格を高騰させ、経済全体に影響を及ぼしています。頻発する異常気象も混乱に拍車を掛けています。当社ではこうした課題に対応するために、価格政策の柔軟化やリスクヘッジ策の強化などを実施しています。例えば昨年は商品の値上げを実施しました。これまでの経験では包装業界における値上げ交渉は非常に難しいものでしたが、原料価格の高騰や円安の状況などをお客様に丁寧に説明申し上げた結果、受入れていただく事が出来ました。価格に限らず今後も当社、お客様の双方が納得いくまで話し合いを重ねる姿勢を継続してまいります。

コロナ禍による制約の中で当社の営業手法としていた対面営業の機会が激減しました。そのような中でも、リモートによるお客様との勉強会を数百回にわたり開催することで、これまでお客様にお伝えしきれていなかった当社の強みをご理解いただくことが出来ました。むしろコロナ禍以前よりもお客様との信頼関係は強固なものになったと感じています。

こうした施策に加えて、イベントの復活などによる人流の回復を背景に、直近の業績は上向きに推移しています。

## 環境配慮型商品の拡大推進

世界的に環境への意識が高まるなか、当社の提案力が実を結びつつあります。スーパーマーケット・トレードショー2023では、商品そのものではなく、「環境へ配慮した機能や活動」を前面にアピールしました。環境に対するお客様の関心は非常に高く、大手スーパーでの商品採用につながりました。また、海洋生物の誤飲を防止するポリ袋「エネルフイッシュ」に海洋生分解性を付加しました (P.9)。これからも同様の提案を続け、「環境＝シモジマ」というブランドを構築したいと考えています。今後も、当社オリジナルブランド「HEIKO」における環境配慮型商品の拡大を推進してまいります。

## 従業員エンゲージメント向上を推進

従業員は当社の最重要資源であり、そのエンゲージメントを高めることがお客様の満足度を高めることになり、ひいては会社の成長につながると考えます。従業員のエンゲージメント向上のために、女性管理職比率や男性の育休取得率などに目標値を設定し、取組んでいます。また階層別研修やIT研修、デジタル人材育成のための情報システム部へのジョブローテーションなどの施策を推進しています。

## サステナビリティ委員会の設置

2022年11月にサステナビリティ委員会を設置し、取組みを一層強化しています (P.6)。ひと月に複数回委員会を開催するなど、活発な議論を重ね、目標値を管理するとともに、最新情報や事例を共有しています。また活動内容を社内外に発信することで、ステークホルダーの理解度向上や会社全体のサステナビリティ意識の向上につなげています。

シモジマは環境問題や社会貢献で業界をリードしていく立場にあると認識しています。今後もサステナビリティ経営の推進を通じてリーダーシップを発揮し、持続可能な未来を切り拓いていきます。

**包装用品の専門商社として  
企業価値を高め  
持続可能な社会に貢献。**



代表取締役社長  
笠井 義彦

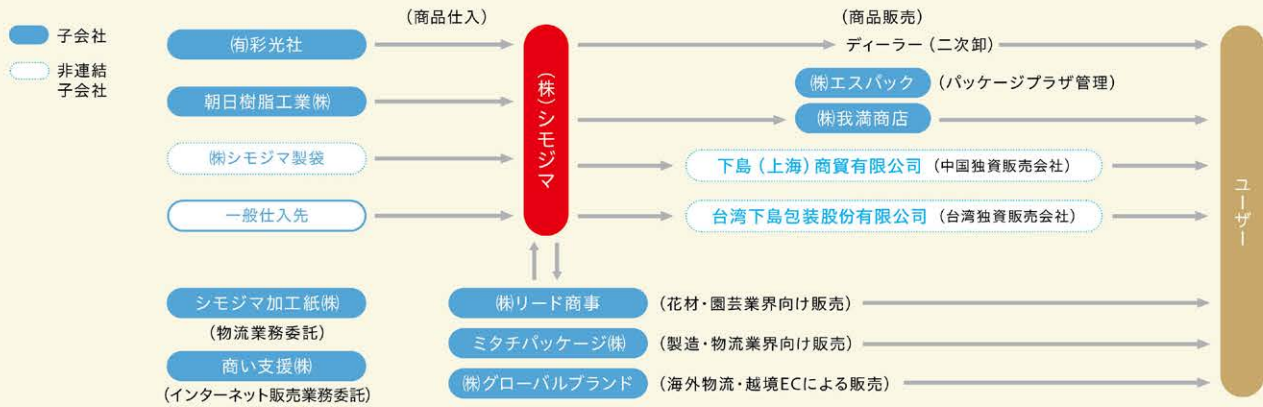
# PROFILE

## 会社概要



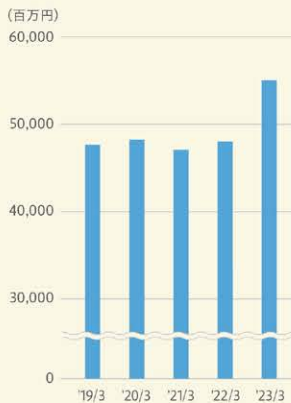
- 創業 1920年(大正9年)
- 設立 1962年(昭和37年4月26日)
- 資本金 1,405百万円
- 本社 東京都台東区浅草橋五丁目29番8号
- 従業員数 787名(連結) ※2023年3月31日現在(就業人員数を記載しております)
- 営業所 東京、大阪、札幌、盛岡、仙台、新潟、金沢、埼玉、横浜、静岡、名古屋、京都、広島、高松、福岡
- グループ会社 連結子会社9社、非連結子会社3社

## シモジマグループ 系統図

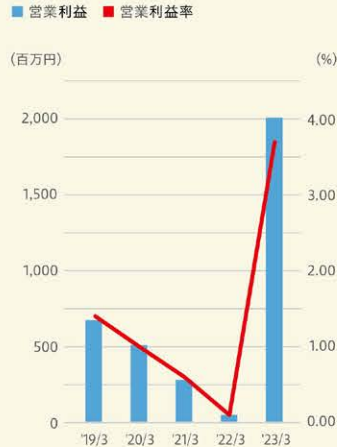


## 経営指標 (連結)

### 売上高



### 営業利益/営業利益率



### 総資産/純資産/純資産比率



## 店舗形態



**直営店**  
 商店営業に必要な包装用品、  
 店舗用品、事務用文具等を販売



**パッケージプラザ**  
 「包装用品をベースとした  
 コンビニエンス」がコンセプト



**シモジマオンラインショップ**  
 包装用品・店舗用品の通販サイト



**east side tokyo**  
 花用ラッピング用品・梱包資材・  
 花器・造花などの専門店

## 取扱い商品



紙袋

包装紙

紙器



ポリ袋

店舗用品

テープ・紐・リボン

食品包装資材



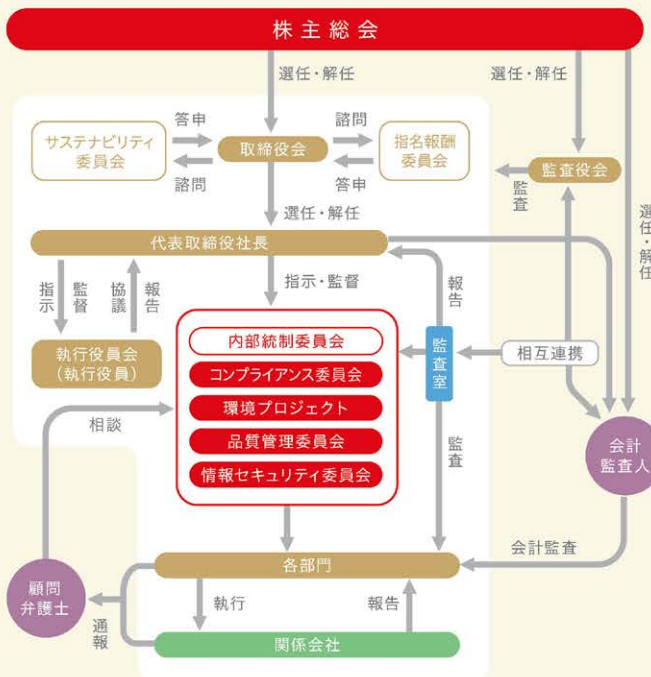
# 組織体制



## 健全で透明性の高い経営によってステークホルダーの要請に応じる

### コーポレート・ガバナンス

当社は、社是である「誠意」「熱意」「創意」を実現し、企業価値を維持・向上させるべく、企業経営の透明性の確保とその機能の向上、及び経営環境の変化への迅速な対応を最重要課題とし、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。



#### 企業経営の透明性の確保

当社は、代表取締役2名と社外取締役3名、社外監査役2名からなる任意の指名報酬委員会を設置し、客観的で公正な助言を受けられる体制を整備しています。株主総会については、招集通知の発送を早期化したほか、スマートフォン・PCによる議決権の電子行使、招集通知の英訳や総会のライブ配信も実施。また2021年に譲渡制限付株式報酬を、2022年に業績連動報酬を導入し、業績・株価に関する意識向上を図っております。

#### 企業経営の機能の向上

企業経営の機能向上を図るべく業務執行取締役は代表取締役を含め6名体制としています。2021年6月にはダイバーシティ向上の観点から女性社外取締役1名を選任しています。

#### 経営環境の変化への迅速な対応

経営環境の変化に迅速に対応するため、委任型の執行役員制を導入し、執行と監督の役割分担を明確化しています。執行役員は業務執行取締役5名を含めた14名で構成しています。また、サステナビリティ活動をより強化すべく、サステナビリティ委員会を2022年11月に設置しました (P.6参照)。

### コンプライアンス

当社は、社長直轄組織であるコンプライアンス委員会にて、基本方針や施策の審議・意思決定を行っています。今年度は、主に右記の内容を検討しました。

#### ■ 情報セキュリティ

情報セキュリティ委員会主導でeラーニングを継続的に実施しているほか、通信販売部門の一部と情報システム部にて取得済みのISO 27001の認証について、規格改訂への対応等を含めた活動を行っています。

#### ■ 研修

情報セキュリティに関するeラーニング、リスク管理・コンプライアンス等に関する社内研修を継続的に実施。また今期は、インボイス制度に関する説明会を複数回実施し、対応を図りました。

#### ■ プライム市場への移行

東京証券取引所の新区分採用に伴いプライム市場に移行したことを踏まえ、投資家向け説明会の充実を図るとともに、上場維持のための諸要請について朝礼等にて周知を図っています。

### 事業継続計画 (BCP)

2014年3月に策定された事業継続計画 (BCP) に基づき、事業継続のための体制整備と運用を行っています。事業継続のためには、災害時の対応も重要な課題と考え、災害ベンダー自動販売機や営業車からの緊急脱出用器具の設置などを以前から行っています。

2023年3月期は、物流関連で、2014年8月に設置した大阪南港物流センターに加える形で、西部配送センターをリニューアルし、東大阪配送センターとして整備を進めました (2023年8月

17日より稼働開始)。同センターでは太陽光発電を導入したほか、空調を導入して従業員の安全衛生の確保を図るなど、環境・



東大阪配送センター

社会の要請も考慮した設備を整えております。同施設の設置により物流障害リスクの低減もさらに進む見込みです。



## マテリアリティを具体化しサステナブルな社会づくりに取り組む

### サステナビリティ経営の実践

当社は包装資材を取扱う企業の立場から、環境配慮型商品の開発・販売でサステナブルな社会づくりに向けた取り組みを続けてまいりました。中期経営計画においてもESG・SDGsを意識した経営を重視しており、気候変動対策はもとより、従業員エンゲージメントの向上、情報開示による透明性・公平性の向上によりESGの質を高め、持続可能な社会を目指しています。こうした取り組みを当社の経営理念と重ね合わせ、当社の考えるサステナビリティ経営として公表・実践しています。

2022年11月には「サステナビリティ委員会」を設置いたしました。サステナビリティ経営にあたってのマテリアリティ（重要課題）を具体化し、解決に向けた目標設定・進捗管理を行っています。従前より当社が取組んできた活動を改めて全社で取りまとめることで、進むべき方向を明確にし、より一層社会の声にお応えしたいと考えております。今後もグループ一丸となってサステナビリティ経営に取り組んでまいります。

### マテリアリティ（重要課題）

サステナビリティ委員会のもと、現時点で優先度の高いマテリアリティ（重要課題）を6つ選定しました。選定にあたっては、各課題を①ステークホルダーにとっての重要度、②当社グループにとっての重要度の2軸で評価し、より優先度の高い内容を抽出しました。

当社は東証プライム上場企業として社会に果たすべき責任があると考え、ひとつひとつのマテリアリティに対して戦略を練り、指標・目標を設定して解決に取り組んでいます。また目標に対する進捗管理を定期的に変更し、PDCAサイクルを回しながら課題解決を進めてまいります。

当社が10年後を見据えて掲げている長期ビジョン「パッケージ×サービス」でお客様に元気を届けるトータルパートナーを目指す」は、マテリアリティを解決することで実現されると考えます。企業の成長が社会貢献となるよう活動を継続します。

### シモジマのサステナビリティ経営の考え方

包装用品の専門商社の立場から、サステナビリティに取り組めます。

私たちシモジマの経営理念は、

サステナビリティの考え方に通じています。

それぞれの理念を基にサステナビリティ経営を推進し、

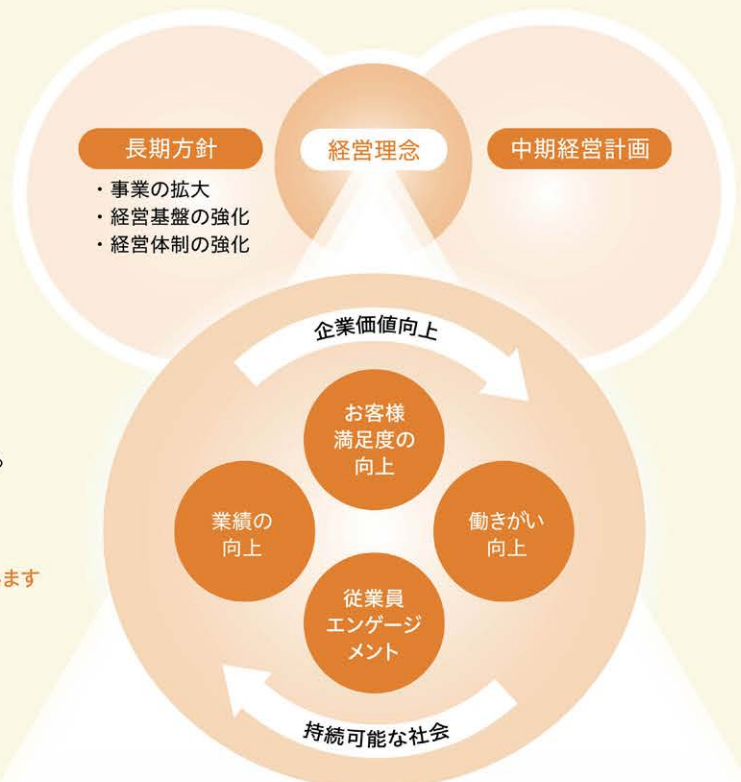
持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

#### 経営理念とサステナビリティ経営

- 一、包装用品とこれに関連する事業を通じ快適な社会づくりに貢献する  
→ 地球や自然環境に配慮した商品の開発と普及に努めます
- 一、常に顧客のニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める  
→ お客様のご商売やお仕事にお役立ちできるような活動に注力します
- 一、たえず経営の合理化と積極販売に努力し企業の発展を図る  
→ 企業価値の向上を目指し事業の発展に尽力します
- 一、社員の楽しく健康的な生活を確保する  
→ 従業員がイキイキとやりがいをもって働ける社内環境整備を推進します

#### サステナビリティ経営

企業価値を高め持続可能な社会であるために



## マテリアリティへの戦略と目標

具体的な戦略・目標として、当社のホームページでは下図の内容を公表しております。

<https://www.shimajima.co.jp/sustainability.html>

### マテリアリティ (重要課題)

#### 環境への貢献

シモジマが考える気候変動対策



#### 1 カーボンニュートラルの取組み強化

**社会的課題 (社会からの要請)**  
地球温暖化による気候変動が加速しており、リスクの抑制と対応が課題となっています。

**当社の取組み/戦略**

- ① 環境配慮型商品の開発と普及
- ② GHG排出量の削減 (Scope1, 2の算定)
- ③ 森林保全活動
- ④ 再生可能エネルギー活用

#### 2 循環型社会の実現

**社会的課題 (社会からの要請)**  
有限な天然資源枯渇のリスクを回避し、資源の循環利用促進が課題となっています。

**当社の取組み/戦略**

- ① 循環型商品の開発と販売
- ② クローズド・リサイクルモデルの推進

関連するSDGs



指標と目標

- ① 2030年までに当社オリジナル商品における環境配慮型商品の販売比率20%
- ② 2030年までにGHG排出量 (Scope1+2) 2023年3月期比: 50%削減

#### 人的資本投資

シモジマらしい自由闊達な社風の醸成



#### 3 従業員エンゲージメントの向上

**社会的課題 (社会からの要請)**  
従業員エンゲージメントを向上させることで、人的資本を最大限活かし、業績を向上させることを要請されています。

**当社の取組み/戦略**

- ① エンゲージメントアンケートの実施
- ② 研修制度の充実 ③ 働き方改革 (テレワーク、フレックスタイムの促進など)

#### 4 ダイバーシティの取組み

**社会的課題 (社会からの要請)**  
急速に変化する社会情勢に対応するために、多様性のある企業であることが要請されています。

**当社の取組み/戦略**

- ① 女性、外国人、中途採用者の管理職への登用と比率の向上
- ② 障がい者雇用

関連するSDGs



指標と目標

- ① 全従業員が高いエンゲージメントを持ち、一丸となって会社の業績向上を図っている状態にする。
- ② 多様な人材が働きがいのある職場環境を作り、自己が成長すると共に、会社の更なる発展に寄与している状態にする。

#### 責任ある企業として

シモジマの三意精神に基づくガバナンス体制の整備



#### 5 ステークホルダーとの対話・迅速な情報開示

**社会的課題 (社会からの要請)**  
透明性と公平性を有した開示において、迅速な対応の促進が要請されています。

**当社の取組み/戦略**

- ① IR、PR活動の充実
- ② 有価証券報告書、四半期報告書、決算短信などへの非財務情報の充実
- ③ 機関投資家との面談

#### 6 サプライチェーンマネジメントの最適化

**社会的課題 (社会からの要請)**  
サプライヤーとの公正な取引を通じて、商品の安全・安定的な供給を要請されています。

**当社の取組み/戦略**

- ① 取引先とのEDI化促進
- ② 海外サプライヤーのサステナビリティ調査の実施

関連するSDGs



指標と目標

- ① ステークホルダーとの良好な関係を維持する。
- ② サプライヤーとのサステナビリティに関する良好な関係を維持する

#### 環境への貢献

包装資材は日常生活と密接に関係し、今後必要とされるものと考えます。その包装資材を取扱う企業として、環境負荷を低減した商品の開発・販売を引き続き推進します。また、クローズド・リサイクルはモデル化できる製品の幅を広げるべく、知見や技術を持つ企業各種団体との連携も検討してまいります。

#### 人的資本投資

エンゲージメントアンケートは2024年3月期中の実施を目指して検討中です。従業員の考えを理解することから始め、個々の社員が活躍の場を広げられるよう、研修制度・働き方の多様化へと反映させていく見通しです。ダイバーシティの観点から、男性従業員の育児休業取得も促進を図ってまいります。

#### 責任ある企業として

ステークホルダーの皆様への積極的な情報開示の一環として、決算説明会や投資家の皆様へ向けた説明会を当社ホームページにて動画で公開しております。サプライヤーとの関係構築においては商品部が主導となり、適正な関係の維持に努めております。



## お客様とのコミュニケーションが価値創造の原点です

電子化された  
ウォントスリップ

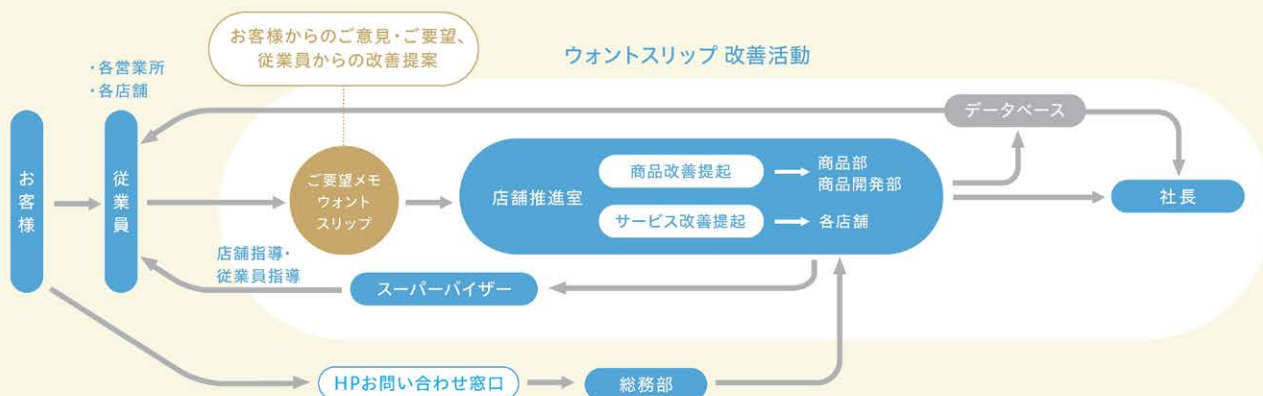


### お客様の声を起点とした体制の整備

当社が経営理念とする「常に顧客ニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める」を実践するツールとして、以前から「ウォントスリップ」活動を重視しています。店舗従業員は、直営店にて承ったお客様のご要望や、日々のお客様対応を通じて気づいた改善提案を「ウォントスリップ」に記録しており、これを収集・分析し、関連する部門にフィードバックすることで、商品開発だけでなく、従業員への教育マニュアル改善、商品知識の向上など幅広く活用しています。

今期は「ウォントスリップ」の電子化を進め、より円滑に社内

情報共有ができるツールに改善しました。情報の入力には各社員がパソコンやスマートフォンから行い、全国の店舗から収集した情報は毎月全社員に共有しております。部署を問わず誰でも「ウォントスリップ」にアクセスできるようにしたことで、店舗のみならず営業活動への情報活用が進みました。また、現場の声に触れる機会が少ないバックオフィス部門の社員も、自身の業務とお客様との繋がりを認識し、業務改善に生かしております。



### 他業種とのコラボレーション



A-プライス 名古屋店 パッケージジブラザ よしや神田店 パッケージジブラザ 仙台長町店

“パッケージ×サービス”でお客様に元気を届けるトータルパートナーを目指す当社は、より多くの“元気”を届ける手段として、異業種とのコラボレーションを3店舗で展開しました。今後も多様な商品・サービスを提供し、お客様の利便性を追求します。

- **A-プライス 名古屋店** (愛知県名古屋市)  
プロ食材の店「A-プライス」のフランチャイジーとしてオープンいたしました。
- **パッケージジブラザ よしや神田店** (兵庫県尼崎市)  
「お菓子のデパートよしや」の神田店内にオープンいたしました。
- **パッケージジブラザ 仙台長町店** (宮城県仙台市)  
地元飲食店のデリバリーサービスを運営する「ナガタク」の事務所を店舗2階に移設いたしました。当社のデリバリー用包装資材をご活用いただきながら、地域活性化に取り組んでいます。

### ECの施策

営業・店舗と並ぶ主要販売チャネルであるEC部門では、「100万×100万プロジェクト」として登録顧客数100万・登録商品SKU100万を中期目標に掲げています。その施策の一つとして、包装用品・事務用品の名入れに特化したサイト「シモラボ」をオープンしました。名入れ商品を気軽に発注していただけのように、専門スタッフとデザイナーがサポートいたします。

シモジマオンラインショップには「シモジマ道具街」と題した特集ページを設けました。シモジマかっぱ橋店で縁のある「かっぱ橋道具街」になぞらえ、プロ仕様のキッチン・厨房用品を取揃えています。今後も取扱商品の充実を図ってまいります。



名入れに特化した「シモラボ」



「シモジマ道具街」



シモジマのお客様に、当社に期待することについて  
ご意見をいただきました。貴重なご意見を  
今後の活動に活かしていきたいと思ひます。

## CUSTOMER & SHIMOJIMA INTERVIEW

株式会社有明 様

イベントやゴミ拾い活動に  
自社オリジナルの  
エネルギーフィッシュを無償提供。



株式会社有明 代表取締役  
内田 善啓 様



**有** 明はポリ袋やフィルム、緩衝材、物流機械などを卸販売・加工する会社です。シモジマ様からは主に包装資材を仕入れています。当社は2004年にISO14000を取得し、環境への取組みを積極的に進めてきました。また2023年5月にはSDGs宣言も発表しています。製品・サービスを通じた社会課題の解決に力を入れ、バイオマスプラスチックや生分解性プラスチック製品の開発・販売を強化しています。

シモジマ様の提供する「エネルギーフィッシュ」に興味を持ったのもその一環です。当初は、エネルギーフィッシュの持つ「苦み成分があり魚が飲み込まない」という特性に注目しました。そして、その後のバージョンアップによって海洋生分解性が加わったことで、取扱うことを決定しました。自社商品として販売するにあたって、こだわったのはデザインです。デザイナーと連携し、海洋生物と人間が共存する美しいイメージを具現化しました。

こうして作ったエネルギーフィッシュを2023年8月に発売開始。といっても、従来のポリ袋に比べ高額になってしまうため、まずは無償提供を通じて商品の良さを広めようとしています。第一弾として、小学生向けのスポーツイベントで約60名の親子に配布しました。「こんなポリ袋があるんだ」と喜んでくださる方も多く、地域の皆さんが環境問題に高い関心を持っていることがわかりました。今後も地元イベントや地域のゴミ拾い活動をしている団体・企業にエネルギーフィッシュを提供して、環境保護に貢献するとともに商品の認知度を高めていきます。環境意識の高い若手の飲食店経営者や、環境活動に熱心な自動車関連企業などにアピールしたいと考えています。



包装資材を販売する企業として、「製品が使い終わればゴミとなる」という事実にもこれからも向き合っていく必要があります。将来的に思い描いているのは、包装資材の100%リサイクルが可能な未来です。シモジマ様との連携を通じて、新たな自社ブランド商品の開発・普及にも取り組んでいきたいですね。



## お取引先様とともに



# お客様のためのよりよい価値を共に創造し改善する

## お取引先様に対する基本姿勢

当社の事業運営は2,000社にのぼるお取引先様との関係に支えられています。独占禁止法の順守、仕入先様との誠実な取引、オープンでフェアな対応を基本方針とし（コンプライアンス企業行動指針の実施要領（行動羅針盤）Ⅲ3・4）、「仕入管理規程」「外注管理規程」を定め健全なパートナーシップの構築を目指しています。また、主要アイテムのお取引先様とは年度目標を設定し、良好な関係づくりに努めています。

### 下請法への対応

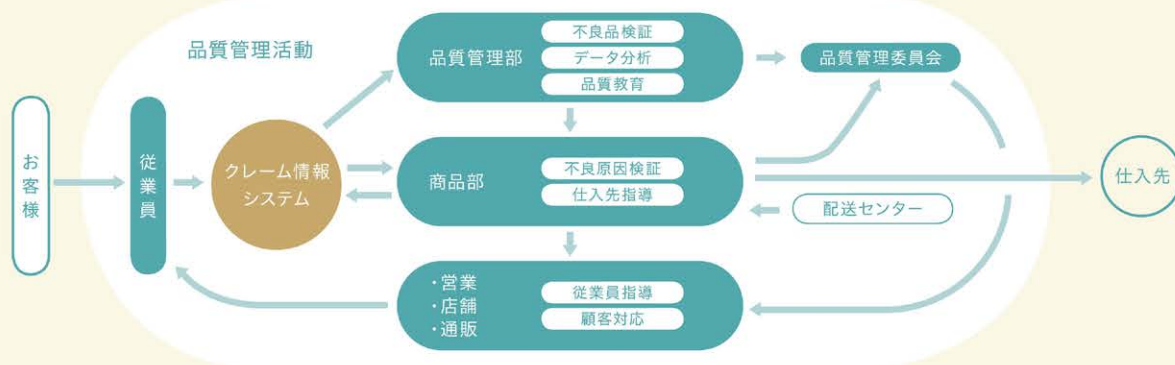
当社では、サプライヤーの皆様との協力関係を維持するため、下請法の順守を重視しています。新入社員をはじめ仕入担当社員へ研修を行い、禁止事項や違反行為事例の学習のほか、問題集活用などにより理解を深めています。

## 品質の維持・向上のために

従前より実施している「サプライヤーチェックシート」を拡充しました。チェック項目を、①品質管理、②SDGsに則った企業運営を確認するためのアンケートの2つに分けることで、新型コロナウイルスの感染拡大以降に訪問ができなくなった海外サプライヤーについて、健全な会社運営がなされているかを確認しています。現地を訪問できるようになった現在は、実際に現場を見ることでチェックシートの内容を具体的に確認し、品質維持・適正な取引を継続しています。



サプライヤーチェックシート



## EDI化の取組み

当社と仕入先様の双方でのペーパーレス・業務効率化を目的として、2023年4月、EDIシステム「S-Order」を導入しました。従来、当社からの発注や仕入先様からの納期回答には、メール・FAX・郵送を使用していました。S-Orderでは、発注から納期回答・出荷連絡までをシステム上で完結できます。導入企業様からは「受発注業務の作業が大幅に削減できた」「書類の紛失や間違いがなくなり不要な作業が減少した」等のお声をいただき、プラスの成果が得られていると考えます。現在は導入先の拡大



S-Order

に向けて、各社へ提案を進めている段階です。

S-Orderを取扱うにあたり情報システム部門でのジョブローテーションも成果を上げており、ジョブローテーションで経験を積んだ社員がS-Orderを紹介する現場で活躍しています。今後も時代に即した業務改善を行ってまいります。

シモジマのお取引先様に、当社に期待することについてお聞きました。貴重なご意見を今後の活動に活かしていきたいと思ひます。

BUSINESS PARTNER & SHIMOJIMA  
**INTERVIEW**

丸紅フォレストリンクス株式会社 様

自社使用済段ボールから紙袋へ。  
クローズド・リサイクルの  
採用企業が増加中！



左から  
丸紅フォレストリンクス株式会社  
包装資材営業本部  
包装資材部  
包装資材課 課長  
熊谷 光英 様

パッケージング部門  
常勤顧問  
堀内 勝 様

包装資材営業本部  
包装資材部  
包装資材課 課長補佐  
石田 祐麻 様

**当** 社は丸紅グループのなかでも、森林由来の素材に関連する多様な事業を展開している企業です。例えばCO<sub>2</sub>排出量の可視化やカーボンクレジットプログラムの提供などのサービスを通じて企業の脱炭素経営の支援提供を目指しています。丸紅グループには、古紙の回収・管理を担う丸紅ペーパーリサイクル株式会社、古紙を原料とする製紙メーカーの興亜工業株式会社、そして古紙排出元のユーザーから各方面へ繋ぎプロジェクトを進行させる役割を担う当社が存在します。丸紅グループ内での循環完結型という強みを活かして考えたスキームが「クローズド・リサイクル」モデルです。古くから取引のあるシモジマ様に提案したところ、ご賛同いただき現在の取組みに至ります。

当モデルでは、シモジマ様店舗や物流拠点などで発生した使用済み段ボールを原料として古紙100%の再生紙を生産し、それをもとにヘイコーパック様にて紙袋や宅配袋に加工します。

使用済み段ボールから生産された紙袋はシモジマ様店舗にて販売されており、宅配袋はシモジマオンラインショップの発送用梱包資材として採用されています。

シモジマ様とのクローズド・リサイクルの取組みは2022年6月に発表。展示会などでもアピールしたことで、多くの企業様に興味を持っていただき、「段ボールto紙袋」の輪が広がってきていることを実感しています。シモジマ様にはユーザー企業への提案や紙袋の再商品化に協力いただき、今後も力を合わせて環境負荷低減につながるスキームを共に構築していきたいです。

丸紅グループはグループの総合力を活かして今後も企業様、消費者の方々の循環型社会への関心を促すと共に、その実現に貢献していきます。





## 一人ひとりが能力を発揮し、働きがいをもてる職場づくり

### 従業員研修

従業員がやりがいを持って働ける環境づくりの一環として、研修などのスキルアップの機会を積極的に設けています。営業部門では「シモジマ社員が紹介するシリーズ」として若い社員が中心となって様々な商品を紹介し、その様子をYouTubeで公開しています。想定されるさまざまなシーンや商品のアピールポイントを部門内で共有することで、部門全体の能力向上を図っています。バックオフィス部門では、希望社員から選拔し、MOS Excelエキスパートの資格取得を推進しています。今後は資格取得者が中心となって、全社員を対象としたMOS資格取得研修制度を確立したいと考えています。



YouTubeの「シモジマ社員が紹介するシリーズ」クローズド・リサイクルのご案内

### イメージソングの作製

当社のイメージソング「美しい奇跡 “we are the one”」を制作しました。社員が普段感じていること、望むこと、伝えたいこと等を集めて歌詞に反映しています。2020年に100周年を迎えた当社の歴史や社風が詰まった、記念となる楽曲です。



YouTubeでご視聴いただけます



### ダイバーシティ

当社グループはダイバーシティ基本方針として、雇用機会均等を念頭に、多様な人材を採用し、従業員が生き生きと働ける環境整備に取り組んでいます。特例子会社である(株)シモジマ製袋での障がい者雇用を積極的に推進しており、グループ全体でダイバーシティに沿った活動を行っています。

組織体制の多様化として、商品部内に女性社員のみで構成された課を充足しました。細やかさや正確性が求められる仕入管理業務において、女性が集まったからこそ生まれる視点や連携を期待するとともに、女性管理職の活躍の場にもなっています。

### 社長賞

優れた成果を上げた従業員や部門・チームに、推薦・審査を経て社長賞を贈呈しています。本年度は以下が受賞しました。



- 商品部・MD部・経理部（業務管理）・総務部（法務）：  
支払日変更による資金繰りの改善・業務効率化
- 情報システム部：ジョブローテーションによる人材育成支援
- 名古屋営業所・業務課：i-Order B3全国初導入
- 台湾下島：2018年期以来の営業黒字・過去最大の売上額達成
- 化成品セグメント担当者（営業・販売・商品部・商品開発部）：  
新商品開発と業績向上

## WE ARE SHIMOJIMA

### 男性社員の育児休業取得

2023年1月より1年間の育児休業を取得しました。また、妻も他社で正社員として勤務しているので同じタイミングで育休を取得しています。夫婦共に育休を取得したことで育児がより楽しくなりました。もちろん大変なこともたくさんありましたが育児と家事を夫婦分担したことで不自由なく取組めました。子供と平日に旅行や動物園などにたくさん行けたことも、育休を取得して良かったことの一つです。

私の休業中にサポートしてくれた職場の上司・同僚にはとても感謝しています。今後は他のメンバーが育休を取得しやすくなるように協力していきたいと思います。



名古屋店 谷口貴哉



## 地域の皆様を包みこみ笑顔を提供する存在でありたい

### スポーツへの協賛

当社は、阪神タイガースのレギュラーパートナー、プロバスケットボールチームであるファイティングイーグルス名古屋のダイヤモンドスポンサーとして、スポーツの振興に取組んでおります。

2023年1月7日には名古屋市枇杷島スポーツセンターにて、ファイティングイーグルス名古屋が行うホームゲーム（対富山グラウジーズ）において、当社冠試合を開催いたしました。

当日は、当試合限定の特製応援ハリセンや海洋生分解性のポリ袋「エネルフィッシュ」の配布をはじめ、ミニバスケットチームによるエキシビジョンマッチや、選手全員のサイン入りTシャツをかけて戦うフリースロー対決、シモジマの人気レトロ柄グッズ詰め合わせのプレゼントなど、当社ならではの特別企画・演出で盛り上げました。



当社冠試合の開催  
会場にて「エネルフィッシュ」の配布

### 未来クリエイター

当社は、株式会社ソーシャルサービズ様と共同で、小学校向け副教材『未来クリエイター 未来をつくる環境にやさしくらしにどきどき』を制作いたしました。

この冊子は、事前アンケートに使用希望と回答した全国16都道府県の小学校771校に2023年6月下旬より順次配布され、約8.1万部が小学5・6年生の社会科などの授業で副教材として活用されるほか、2023年7月5日より1年間、当社ホームページのパナーからご覧いただけます。

当社は持続可能な社会に向けて、環境配慮型商品の開発・普及のほか、森林保全活動や資源の循環利用、これらに関する情報発信を積極的に推進しております。



未来クリエイター

## ユニクロ浅草店とコラボ

SHIMOJIMA  
TOPICS



ユニクロ浅草店「周年祭」に参加

包装用品の専門商社である当社は、包装に関する文化の継承・情報発信を重視しており、現在に至るまでの企業活動のなかで知的財産として蓄積されたデザインの有効活用を図っております。また、他業種の企業様とのコラボによ

って新たな価値の創造に努めていきたいと考えております。その取組みの一環として、ユニクロ浅草店がオープン2周年を記念して実施する「周年祭」に6月23日（金）から3日間参加し、シモジマのポップアップストアを出店いたしました。ユニクロ浅草店限定の「UTme!」スタンプには、当社が創業100周年を迎えた2020年に、復刻してメディアにも取上げられる等注目を集めた「ストップペイル」柄が展開されました。「UTme!」とはユニクロが展開する、世界に1つだけのオリジナルTシャツやトートバッグが簡単に作成できるサービスです。当社は今後もこのような活動の継続により、新たな価値の創造に努めていきたいと考えております。



「UTme!」ポスター



## 環境負荷低減のために会社を挙げて取り組んでいます

### 持続可能な社会に向けて

自然環境の保全是、いまや世界の喫緊の課題になってきています。当社も、「包装用品と、これに関連する事業を通じ快適な社会づくりに貢献する」ことを経営理念に掲げております。具体的には、環境マネジメントシステムを運用し、環境配慮型商品を精力的に開発・販売しているほか、グループを挙げて省エネルギー、省資源、CO<sub>2</sub>削減、リサイクルに取り組んでおります。

### 2022年度環境実行計画と実績

当社の環境マネジメントは国際規格ISO14001に則っており、2000年11月に本社で認証を取得しております。2022年度（2023年3月期）の環境実行計画及びその結果は下記に示すとおりです。

環境目的	環境目標（2022年度）	実績（2022年度）	評価
■ 環境配慮型商品の拡販	2021年度比102%以上販売額増	2021年度比120.9%	○
■ 環境配慮型商品の企画・開発	年間20アイテム以上開発	年間22アイテム開発	○
■ 環境配慮を目指した商品の提案活動	環境配慮型商品に結び付けられる提案活動を推進する	環境配慮型商品10件	○

### 電力使用量・CO<sub>2</sub>排出量削減への取組み

当社では引き続き電力使用量の削減に取り組んでおります。2023年3月期のグループにおける電気使用量は約986万kWhとなり、前期比で1.7%増加となりました。これは、主として経済がアフターコロナに移行するなか生産活動・営業活動が平常化に向かったことによるものです。

また、「使用面積あたりの消費電力量」（原単位）も、当社では1.96%増加、子会社では1.8%増加となりました。

なお、当社グループ連結でのCO<sub>2</sub>排出量については、Scope 1はガソリンを中心に458 t-CO<sub>2</sub>、Scope 2は電力消費により4,762 t-CO<sub>2</sub>となっております。

電力使用量の推移（グループ）



使用面積あたり消費電力量の推移（グループ）



CO<sub>2</sub>排出量の推移（当社）



■ 調整後排出係数換算：環境省・経済産業省の省令に基づき算出された係数で換算しています。

## 環境保全に関する重点項目 (環境方針より抜粋)

- ① 環境負荷の低減を目指した自社ブランド商品 (環境配慮型商品) の企画・開発と品質管理
- ② 省エネルギー・省資源の推進とCO<sub>2</sub>削減
- ③ 当社が排出する廃棄物の削減とリサイクルの徹底推進

※環境方針の全文はウェブサイトを参照ください。

[https://www.shimajima.co.jp/sustainability/environment/environmental\\_policy.html](https://www.shimajima.co.jp/sustainability/environment/environmental_policy.html)

## 容器包装リサイクル法への対応

当社は、容器包装リサイクル法上の特定事業者指定されており、再商品化委託料金の支払いのほか、排出抑制措置として、店舗における紙袋・レジ袋の使用重量減少に努めています。具体的には、適正サイズの紙袋の開発や、当社ロゴ入り紙袋の回収のほか、再生紙やバイオマスなどを活用した環境配慮型商品の開発と拡販を行っています。

本年度は昨年度と比較し、プラスチック容器包装の利用・製造量が13,909トンで約0.9%増加、紙の容器包装の利用・製造量は7,555トンで約17.2%増加となりました。業況の変化とともに両指標とも増加しましたが、当社としては今後も軽量化や環境配慮型商品の開発・拡販により、お客様のニーズへの対応と環境負荷低減の両立を図ります。

また、不良品の廃棄も環境負荷となるため、不良品自体を減らすよう品質管理を行うとともにリサイクルを促進し、環境負荷を引下げる努力を継続していきます。

容器包装リサイクル法関連の  
容器包装資材の取扱量の推移



■ 報告書提出の計算時期の関係で、前年の会計年度の計算値を掲載しています。

## マテリアルリサイクルによる商品開発

### 再生原料配合ポリ袋を開発

環境配慮型商品の開発と販売は当社の環境活動の最重要項目です。従前よりバイオマス\*成分を配合した商品等を積極的に開発・販売していますが、今期はマテリアルリサイクルの観点から、再生原料を配合したゴミ袋・ハンドハイパー (レジ袋) を開発いたしました。再生原料配合ハンドハイパーは食品衛生法に適合しているため、従来品と同様に安心してお使いいただけます。プラスチック製買い物袋が有料化されて3年以上が経ちますが、レジ袋ははじめポリ袋はまだ我々の生活の身近に存在しています。サーキュラーエコノミーに貢献できるよう、今後もさらなる商品開発と販売を進めてまいります。



廃棄プラスチックから  
生まれた再生原料

再生原料  
バイオハンドハイパー

\*バイオマス：生物由来の再利用可能な有機性資源のうち、化石資源を除いたもの

SHIMOJIMA  
TOPICS



JQA-EM1092

株式会社シモジマ(本社)は環境マネジメントシステムの国際規格[ISO14001]の認証を平成12年11月10日付で取得しております。(登録証番号)QA-EM1092)当社はこれからも環境保全を重視した活動を積極的に行ってまいります。



印刷工程では、生分解性があり、VOC(揮発性有機化合物)排出量も少なく、CO2を吸収する植物から作られた植物油インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。



この製品は、森林認証材および管理原材料から作られています。



当社は、一般社団法人

more treesの活動に賛同し、

当社の利益の一部を寄付することで

その森林保全活動を支援しております。

一般社団法人more treesは、

音楽家 坂本龍一が創立した森林保全団体です。